

| | | | |
|---|--|----------------------------|-------|
| 年度 2007 学期 前期 | 曜日・校時 火4 | 必修選択 選択 | 単位数 2 |
| 授業科目/(英語名) | コンピュータ入門 (Introduction to Computer Systems) | | |
| 対象年次 1,2年生 | 講義形態 講義・演習 | 教室 430教室・情報メディア基盤センター第1端末室 | |
| 対象学生(クラス等) 全学部 | 科目分類 情報処理科目 | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:野崎 剛一/Eメールアドレス:nozaki@nagasaki-u.ac.jp/研究室:情報メディア基盤センター教授室 /オフィスアワー:火曜日・5校時 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。情報社会を支えるコンピュータは多様な目的に使われているが、そこには共通な情報処理の原理があり、それに基づいて色々な応用目的に利用されている。 コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや動作原理、デジタルデータ処理の基本手法や情報通信技術の基礎知識について理解を深める内容を分かり易く講義する。 授業方法: コンピュータの入力、記憶、演算、制御、出力の各機能の仕組み、基本ソフトウェアとアプリケーションプログラムの動作原理及びデジタルデータの表現方法などの基礎知識について理解を深めるために、Windows パソコンを使って演習を行いながら講義する。特に、オペレーティングシステム(OS)やアプリケーションプログラム及びコンピュータ内での情報の表現方法に関して、様々なデジタルデータを直接取り扱って学んでいく。 授業到達目標: 情報社会を積極的に生きるために必要な情報通信技術の基礎的な動作原理を理解することを目標とする。 コンピュータの基本的な原理や特性を正しく理解することにより、コンピュータはどのような時に役立ち、どのようなことが苦手かという見当がつくようになり、今後の専門課程の教育・研究にも役立ち、応用できる基礎概念を身につける。 | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容 以下のような内容を講義する予定であるが、講義の進捗により順序や内容の変更もある。 講義では、情報メディア基盤センターのコンピュータシステムを利用するので、学生用アカウントを取得しておくこと。 [情報とコンピューティング] 第1回 コンピュータの歴史 第2回 コンピュータの仕組み(1) 第3回 コンピュータの仕組み(2) 第4回 ソフトウェアシステムと命令語の構成 第5回 情報のデジタル化(1) 第6回 情報のデジタル化(2) 第7回 ハードウェアの基礎 第8回 プログラミングの基礎 [情報とコミュニケーション] 第9回 ネットワークの仕組み(1) 第10回 ネットワークの仕組み(2) 第11回 電子メール 第12回 WWWと検索エンジン 第13回 知的財産と情報倫理 第14回 情報セキュリティ 第15回 定期試験 | | | |
| キーワード | コンピュータ、ハードウェア、ソフトウェア、インターネット | | |
| 教科書・教材・参考書 | プリントを必要に応じて配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 期末試験 80点、レポート等 20点 出席点はない。 | | |
| 受講要件(履修条件) | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | |
| 備考(準備学習等) | | | |